

【資料 3】

令和 8 年 1 月 19 日

九州運輸局長 殿

住 所 福岡県朝倉郡筑前町篠隈373
協議会名 筑前町地域公共交通会議
代表者名 会長 稲永 健太郎

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の提出について

令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業に伴う事業評価を行いましたので、別添のとおり報告します。

担当部署: 筑前町役場企画課企画調整・ふるさと納税係
担当者名: 手島
連絡先: 0946-42-6601
E-mail: kikaku@town.chikuzen.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

事務局案

令和 年 月 日

協議会名: 筑前町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーターシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
筑前町地域公共交通会議	オンデマンドバス	-	目標数値を下回っているものもあるが、事業は適切に実施されている。今後も各数値が維持していくように、事業を実施していく。	B ・公共交通年間利用者数 94%(R元対比) ・オンデマンドバス収支率 5% (令和10年度までに目標15%)	公共交通機関についてはコロナ禍前に戻りつつある。本年度5%だったので、甘木鉄道や西鉄バスとの連携を強化すること でオンデマンドバスの収益率の向上につなげたい。併せて広告料などの収入を見込めるよう事業展開を検討する。
			A	・講座等の件数 10件(6回/年) ・モビリティマネジメントの回数 1回(1回/年) ・公的資金投入額 1,358円(1,400円)	どの事業についても計画通りに進んでおり、この状態を維持する。
			B	・利用者数 70%(令和元年度比) ・商業観光施設との連携 1件(2件/年間) ・高齢者運転手の免許自主返納 106件(100件/年間)	本格運行となり、有料運行の初年度であった。運行方法の周知や会員登録の促進などを中心に行い会員数は伸びている。商業観光施設との連携など利用促進につながる事業を展開する。併せて会員登録済の未利用者についてアプローチを行い、更なる利用者数の増加につなげる。
			A	・拠点施設箇所数 19か所(現状維持) ・パークアートの駐車場 1か所(現状維持)	計画通りに進んでおり、この状態を維持する。
			A	・広報媒体への案内・掲載 12回(町広報)	計画通りに進んでおり、次年度以降も町広報の内容をより充実させる。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について(案)

令和 年 月 日

協議会名:	筑前町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	高齢化などに適応した交通環境の整備改善を図り、鉄道や路線バス、タクシー、オンデマンドバスの交通結節点等を繋ぎ、誰もが利用しやすい交通ネットワークの構築を目指します。また、地域内の生活拠点を広域幹線軸にタクシーやオンデマンドバスで繋ぎ町内外への人の行き来を後押しします。